

とおかまち



雪まつり雪上カーニバル

2月18日(金)から20日(日)にかけて開催された第62回十日町雪まつり。19日に開催された雪上カーニバルでは、3万人の観客が音楽や雪花火を楽しんでいました。
(関連記事2ページ)

主な内容

- 第62回十日町雪まつり 2-7
- 市の機関が移転／窓口のお知らせ ほか 8-9
- 戸別所得補償制度／コンビニ納付 ほか 10-11
- 県議会選挙／障がい者福祉制度② ほか 12-15
- 協働のまちづくり／しゅみ分署完成 ほか 16-19
- 全国大会で大活躍／地産地消 ほか 20-21
- 地域の風～支所からのたより～ 22-23
- ときめきネットワーク／元気予報 ほか 24-25
- まちの話題TOPICS／お知らせ・ガイド 26-29
- ジュニア芸術祭 一吉田小学校 30



第62回 十日町雪まつり

～雪を敵とせず、友としよう～ 先人の思いを今につなげる

①雪上カーニバル ②3組が同時に戦う雪上バレーボール・ツマリアンボール ③街角のいたるところに作られたオブジェ ④コミュニティひろばの雪上茶席 ⑤コミュニティひろばのキャラクターショー ⑥十日町雪まつりキャラクターの「ネージュ」 ⑦ほんやら洞ひろばのキャンドルデコレーション ⑧第29代ミス十日町雪まつり ⑨ひろばではアトラクションがたくさん ⑩石ぼとけひろばの温かいおもてなし ⑪じょんのびひろばのもちつき大会 ⑫駅西口の雪の街角作品コンテスト ⑬石ぼとけひろばの雪像 ⑭神楽の郷・赤倉ひろばの音楽ステージ



雪まつり
イベントアラカルト

2月18日(金)・19日(土)・20日(日)に開催された第62回十日町雪まつり。市内では2人が死亡し39人が負傷、甚大な被害を出した記録的な豪雪の中での開催でした。「雪に親しむことができた、雪国の暮らしはどんなに明るくなるだろう」。昭和25年に日本で最初に始めた雪まつりは、暗い雪国の生活を少しでも明るく過ごそうとの市民の思いがきっかけでした。「雪を敵とせず、友としよう」。十日町雪まつりは、雪とともに暮らした先人の、自然への深い畏敬の念から生まれたものです。

19日と20日は晴天に恵まれ、3日間で昨年を上回る延べ32万5、000人の来場者でにぎわいました。

たくさん
雪まつりイベント

18日午後6時30分からのオープニングフェスティバルを皮切りに第62回十日町雪まつりは開幕。19日には交流をしている横浜観光親



オープニングフェスティバルで行われた園児のステージショー

善大使といぶすき花の女王の皆さんを迎え、ウェルカムセレモニーが行われました。20日にはツマリアンボール選手権大会などが行われ、コミュニケーションひろばを中心にたくさんのイベントが行われました。



ミスの皆さんを紹介したウェルカムセレモニー

雪上カーニバル

19日に開催された十日町雪まつりメインイベント「雪上カーニバル」には、延べ3万人が入場しました。巨大な雪の舞台は「風神雷神」をモチーフに、センター階段は太陽をイメージ、後光を背景に配したデザインで制作されました。「Big Snow Festival」と題したショーは、タレントの遠藤章造さん・加藤紀子さんの司会で開演。きものショーに続き、氏神一番、矢沢洋子さん、jealkb、moonoon、May J.、ET-KINGの歌でステージは盛り上がりました。最後は壮大な雪花火で幕を閉じました。



例年より1時間早く開演した雪上カーニバル

ミス十日町雪まつり
コンテスト

20日にはクロス10で、十日町市の観光親善大使を選ぶミス十日町雪まつりコンテストが行われました。コンテストには、43人の応募の中から予選会を通過した28人が出場。鮮やかな振りそでを着て、審査員と1、500人の観客の前で思い思いに自己アピールをしました。

今回は30回の記念コンテストということもあり、歴代のミス十日町雪まつりの皆さんを招待。26人の歴代ミスの皆さんは着物姿で審査員を努め、会場を華やかに盛り上げました。



左から、第30代ミス十日町雪まつりに選ばれた井上みなみさん、吉田衣里さん、高野亜里紗さん

20年にわたり
雪像づくりに参加

東京都日野市から駆けつけ、地元の雪像制作団体に負けず何度も入賞した「ひのスノーマン」。今回で20回目の参加で、延べ60人の日野市民が雪像を制作しました。ひの社会教育センター館長の中能孝則さんは、「最初に雪まつりの雪像を見たとき、これはおもしろいと思いました。絵描きが下絵を描き、工作のうまい人が模型を作るなど、みんなで協力して雪像を作ります。この地が好きで1年に6回くらい来ている」と話しました。(市民リポーター…高橋郁さん)



ネージュが活躍



雪まつりの期間中、各ひろばで雪まつりキャラクターのネージュが活躍しました。ネージュは、オープニングフェスティバルを皮切りに、ウェルカムセレモニーや雪上カーニバルに出演。各ひろばでは子どもから年配の人まで、「かわいい」「写真を撮っていいですか」「握手をしてもいいですか」の声に気軽にこたえていました。あるひろばでは、踊ったり、もちつきをしたりして体を張った場面もありました。来年の雪まつりもいっぱい活躍してほしいと願っています。(市民リポーター…根津明義さん)

出場者&歴代ミスの豪華共演

20日(日)にはクロス10で、ミスコンテストが開催されました。30回という記念コンテストでもあり、初代からの歴代ミス26人を特別審査員に迎えての華やかな選考会となりました。中越大震災の影響で、第24回のミスコンは非公開での開催でしたが、その第24代ミス3人がステージで紹介され、心温まる場面となりました。運営にもかかわっている第25代ミスの富沢好美さん(本町7・29歳)は、「節目の年に歴代ミスとして参加できたことに歴史の重みを感じ、ミス卒業生の1人としてこれからもコンテストを応援していきたいと思います」と話していました。(市民リポーター…関田秀子さん)



温かなおもてなし



鉢の石ぼとけひろばでは、真生会の皆さんが威勢よくお出迎え。テント内のいろいろの周りには、たくさんのお客さんが集まりました。会場では花火大会や演奏会、宝探しなどで盛り上がりました。名ケ山のつるぬま池ひろばではどんど焼きが行われました。しめ飾りや書初めなどもいっしょに燃やして、今年の運勢を占います。点火役は、うさぎ年生まれのお子さん。燃え上がる火は、離れていても熱くなるほど。もちつきも行われました。火力が収まったところで、竹ざおの先にするめを付けてあぶります。これを食べると1年元気でいられるとか。素朴で温かな雪まつりを堪能しました。(市民リポーター…門脇洋子さん)



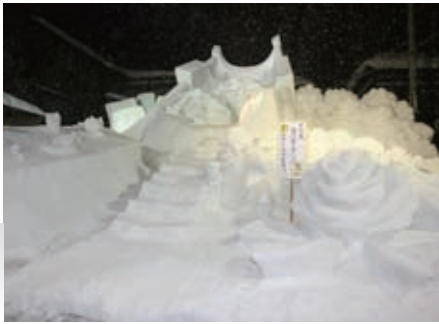
十日町市長賞
「翔（かける）」
（水沢雪まつり会）

雪まつりの原点「雪の芸術展」には、芸術部門32点、特別部門19点、学童部門18点の計69点が出展されました。芸術部門に入賞した22作品を紹介します。

今年の特別表彰は下記の5団体です。
〈特別表彰受賞団体〉

20回参加表彰	三好園職員互助会 愛ing下条 ひのスノーマン
25回参加表彰	城之古青年会
40回参加表彰	本町1丁目四区合同

〈特別功労賞〉（県外から20年連続参加）
ひのスノーマン



十日町市議会議長賞
「アリスinワンダーランド」
（本町1丁目四区合同）



十日町繊維工業協同組合理事長賞
「帰ってきたスーパーマリオ」
（城之古青年会）



新潟県建設業協会十日町支部長賞
「風の谷のナウシカ」
（のぞみの郷 新墾会）



十日町市文化協会連合会長賞
「跳」
（学校町1丁目町内会）



十日町北ロータリークラブ賞
「STOP 温暖化！」
（榊村山土建）



十日町平成ライオンズクラブ賞
「トキ舞い降りる里」
（あてま有志の会）



地元新聞社賞
「風神・雷神・七福神」
（田麦有志と日本大学芸術学部）



十日町地域森林組合長賞
「羽ばたき」
（鉢真生会〈水内貴英とゆかいな仲間たち〉）



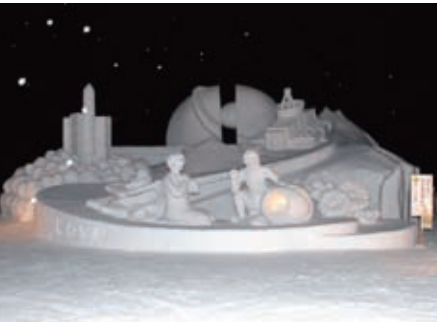
三国コカ・コーラボトリング賞
「遥かなる銀河への旅立ち」
（関浅四季の会）



審査員賞
「ゲゲゲのまちおこし」
（三春会）

～純白の造型美～

雪の芸術展



十日町市観光協会会長賞
「“はやぶさ” 2,595日の旅」
（愛ing下条）



十日町市長賞
「冬夜一夜物語～精魔神転生～」
（アウト・ドア・ファミリー4クラブ）



十日町商工会議所会頭賞
「十日町の新しい響 火の鳥ヤマト」
（本町7丁目 三和町 町内会）



十日町農業協同組合会長賞
「注文の多い料理店」
（ひのスノーマン）



十日町市商店街振興組合連合会長賞
「ねがい念ずれば福来たる」
（三好園職員互助会）



十日町ロータリークラブ賞
「三太刀七太刀」
（上新田いずみ会）



十日町ライオンズクラブ賞
「『五穀豊穡』 平安への祈り」
（上新田青壮年会）



十日町青年会議所理事長賞
「越後の弥三郎婆伝説」
（北新会with新田イベント研究所）



キリンビール賞
「ホエール ダイニング」
（下条いなかつペ大将）



ほくほく線賞
「ヤマト、十日町を救う」
（栢花水農産）



審査員賞
「“未来につなぐ皆の力” はばたけ！」
（南新田町1・2・3丁目合同）

3月22日(火)以降

市の一部の機関が移転します ～教育委員会が川西に、農業委員会が中里に～

3月22日(火)に本庁舎内にある教育委員会が川西庁舎に、3月28日(月)に農業委員会が中里庁舎に移転します。この移転に合わせて、本庁舎内に教育委員会窓口と農業委員会十日町事務所が新設されます。また、本町分庁舎に置かれている産業観光企画課と産業振興課が本庁舎2階に移転し、本庁舎内では都市計画課が2階から3階に移転します。

なお、この移転に伴い、農業委員会のみ直通の電話番号が変わります。そのほか、今回の再配置により支所の庁舎に教育委員会などの本庁機能が移転することから、支所の庁舎の名称を川西庁舎・中里庁舎・松代庁舎・松之山庁舎と改めました。

部など	移転する課など	移 転 先	移転日
教育委員会	・教育長 ・教育総務課 ・学校教育課	本庁舎 → 川西庁舎	3月22日(火)
	・教育センター	情報館 → 川西庁舎	
農業委員会	・農業委員会事務局(本局)	本庁舎 → 中里庁舎 ☎763-2515	3月28日(月)
	・農業委員会十日町事務所	【新設】本庁舎2階 ☎757-3286	
産業観光部	・産業観光部長 ・産業観光企画課 ・産業振興課	本町分庁舎 → 本庁舎2階	
建設部	・都市計画課	本庁舎2階 → 本庁舎3階	すでに本庁舎から松代庁舎に移転しています
(助山の暮らし再生機構・十日町市里山センター)			

県から市への事務・権限の移譲について

～手続きなどが一部変更になります～

市では、市民の利便性向上と自治権強化を目的に、4月1日(金)から次の2項目の事務・権限の移譲を受けることになりました。その内容と4月以降の担当をお知らせします。

事務・権限の名称	変更内容	4月以降の担当・問合せ
①母子保健の向上に関する事務(未熟児の訪問指導)	未熟児の訪問指導を市が行います。(現在は県が実施)	健康支援課 母子保健係 ☎757-9759
②火薬取締法事務(煙火の消費の許可)	花火などの火薬類の消費申請の受理などを市が行います。(現在は県が実施)	防災安全課 防災安全係 ☎757-3197

【用語解説】

事務・権限の移譲とは、地方分権の一つとして全国で進められ、住民の利便性向上や市町村の自治権強化を図ることで、個性豊かな地域づくりを目的とします。県庁や県の地域機関が所管していた事務・権限を、今後は住民に身近な市町村が担うというものです。

■問合せ：企画政策課企画政策係 ☎757-3193

こちら市役所窓口です

今年も就職・転職・進学などの時期になりました。転出日・転出先が決まったら、早めに手続きにおいでください。年度替わりのこの期間、市では一部の窓口業務を延長します。

また、各種証明書は、本庁では土・日曜日の午前中、情報館では3月末まで土・日曜日と祝日にも発行しています。平日は本町分庁舎でも証明書を発行していますのでご利用ください。

年度末は窓口の混雑が予想されます 届出はお早めに

3月・4月は窓口が大変混雑します。手続きや証明書の発行に時間がかかることもありますので、ご了承ください。特に、休日の前後や昼休みは混雑が予想されます。ほかの時間を利用すると、待ち時間が短くなります。

本庁の窓口業務を延長します

◎延長期間
3月22日(火)～4月8日(金)
◎延長時間…午後7時まで
※本庁窓口のみ延長します
※延長時間中は、対応する職員が少なくなるため、お待たせすることがあります

延長窓口の業務内容

延長窓口では、次のサービスを行っています。

① 戸籍関係

出生届、死亡届など各種戸籍届出の受付、戸籍・除籍・改製原戸籍証明書の発行など

② 住民基本台帳関係

転入・転出・転居届、世帯主変更届の受付、住民票の写し、住民基本台帳カードの発行など

③ 自動交付機関係

自動交付機の利用登録

④ 印鑑登録・証明

印鑑登録、印鑑登録証明書の発行

⑤ 自動車臨時運行許可

⑥ 外国人登録関係

⑦ 国民年金関係

国民年金の各種請求などの受付

⑧ 国民健康保険関係

国民健康保険に関する申請などの受付

⑨ 子育て支援関係

子ども手当、児童扶養手当、医療費助成に関する申請などの受付

注 意	旅券(パスポート)事務及び公的個人認証(電子証明取得)事務は延長しません。午後5時までに窓口においでください。
-----	---

情報館の証明発行窓口を 廃止します

市役所本庁舎で証明書自動交付機が稼働したことに伴い、土・日曜日、祝日に開設していた情報館の証明書発行窓口を次の期日をもって廃止します。
◎廃止日…3月末
◎最終受付日…3月27日(日)

長い間ご利用いただきありがとうございました。

なお、本庁舎の証明書自動交付機を利用する場合は、事前に利用登録手続きが必要となります。詳しくは問い合わせてください。

戸籍や住民票などの請求時に 本人確認を行っています

戸籍法及び住民基本台帳法の改正により、戸籍や住民票などの請求時に本人確認を行っています。申請する場合は、免許証や住基カード(写真付き)などの本人確認書類をお持ちください。詳細は、市民生活課市民年金係へ問い合わせてください。

問合せ

市民生活課市民年金係 ☎757-3116
市民生活課国保係 ☎757-3735
子育て支援課子育て支援係 ☎757-3719

農業者戸別所得補償制度 **本格実施が始まります**

昨今の魚沼米の販売不振を受け、当市の平成23年産米の生産数量目標は対前年比マイナス4・3％、面積換算値でマイナス175haとなりましたが、農業者の所得の安定には、米価の安定が必要であることから、生産数量目標に従った取り組みを目指します。

また、生産調整地は有効活用し不作付地を解消しつつ、農業者の所得向上及び食料自給率の向上を目指します。

農業者戸別所得補償制度の概要

国では、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持するため、平成22年度に実施された戸別所得補償モデル対策の対象を、水田のみから畑作物にも拡大し、平成23年度から農業者戸別所得補償制度を本格実施します。

①米の所得補償交付金事業

米の生産数量目標に従って生産を行った販売農家などへ、標準的な生産費と販売価格の差額分に相当する交付金を交付します。交付対象…米の生産数量目標に従って生産を行った販売農家など

交付単価…15、000円／10a（モデル対策と同額）

②米価変動補てん交付金事業

米の所得補償交付金と合わせて標準的な生産費を補てんするものとして、米の生産数量目標に従って生産する販売農家などに対して「当年産の販売価格」が「標準的な販売価格」を下回った場合に、その差額分を10a当たりの単価で交付します。交付対象…米の所得補償交付金の交付対象者

③水田活用の所得補償交付金事業

水田で大豆・そば・米粉用米・飼料用米などの戦略作物を生産する販売農家へ、主食用米並の所得

を確保できる水準の交付金を面積払いします。

交付対象…販売目的で対象作物を生産（耕作）する販売農家など

④畑作物の所得補償交付金事業

麦・大豆・てん菜・でん粉原料用ばれいしよ・そば・なたねを生産数量目標に従って生産を行う販売農家などへ、標準的な生産費と販売価格の差額分に相当する交付金を交付します。支払いは数量払いを基本とし、営農を継続するために必要最低限の額を面積払いで交付する仕組みです。

交付対象…対象作物ごとの生産数量目標に従って、販売目的で生産（耕作）を行った販売農家など



平成23年産米の生産数量目標の配分

区 分	平成23年産	平成22年産	増 減
国	795万トン	813万トン	△ 18万トン
新潟県	548,380トン	557,830トン	△ 9,450トン
	101,740 ha	103,490 ha	△ 1,750 ha
十日町市	18,869.30トン	19,721.81トン	△ 852.51トン
	3,721.76 ha	3,897.59 ha	△ 175.83 ha

※十日町市の作付できる面積の割合は全水田面積の66.2％です

■問合せ
 農林課農業振興係
☎757-9922
 または各支所農林建設課

十日町市介護保険運営協議会の委員を募集します

十日町市介護保険運営協議会は、介護保険の運営などについて審議する機関です。

■募集人員：1人

■応募資格：市内に住所を有する満40歳以上（介護保険被保険者）の人で、介護保険に関心があり、1年間に4回程度開催される協議会に出席できる人

■委嘱期間：4月1日～26年3月31日（3年間）

■応募方法：所定の応募用紙（福祉課・各支所市民課に配置）と「介護保険について日ごろ考えていること」を400字程度にまとめた作文を提出してください。

■応募期限：3月25日(金)

■選考方法
 書類審査（結果は応募者全員に通知）

■応募・問合せ
 〒948-8501 十日町市千歳町3-3
 福祉課介護保険係 **☎757-3757**

コンビニエンスストアでも市税が納付できます

4月から、市税がコンビニエンスストアでも納付できるようになります。これにより、休日や夜間でも市税を納めることができますので、ぜひご利用ください。金融機関や郵便局でも従来どおり納付できます。

■コンビニエンスストアで納めることができる市税
 ○市・県民税（普通徴収のみ）
 ○固定資産税
 ○軽自動車税
 ○国民健康保険税

■取り扱いコンビニエンスストア
 セブンイレブン、ローソン ほか

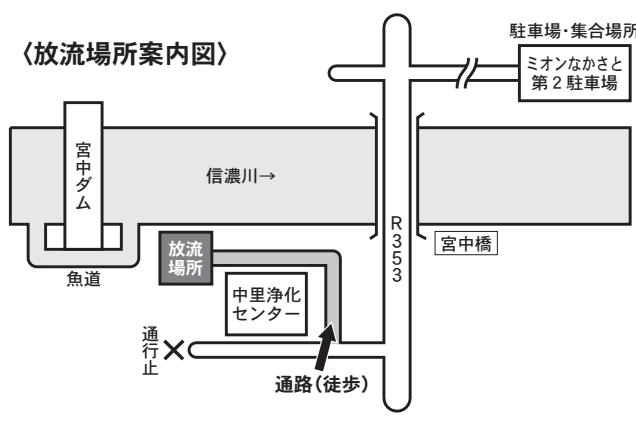
※取扱店は納付書に記載されていますので、ご確認ください
 ※手数料は無料です

■問合せ
 税務課管理収納係 **☎757-3113**

カムバックサーモン **サケの稚魚・市民環境放流**

信濃川、そして上流の千曲川・犀川までサケを遡上させる運動に取り組むNPO法人「新潟水辺の会」では、今年も「サケの稚魚・市民環境放流」を新潟県（信濃川）と長野県（千曲川）で行います。信濃川では、宮中取水ダム下流で、同会とJR東日本が協力して25万尾の稚魚放流を行います。大きく成長した数多くのサケが、またこの地へ帰ってくることを願い、市民の皆さんも放流活動に参加してみませんか。

■日時…3月21日（春分の日）午後2時～3時（雨天決行）
■放流場所…JR東日本宮中取水ダム下流右岸河川敷（魚道付近）
■集合…午後1時30分 ミオンなかさと第2駐車場
 ※放流場所付近には駐車場がありませんので、こちらへ駐車してください。駐車場と放流場所の間はシャトルバスを運行します。徒歩の場合は、午後2時までに放流場所へ集合してください。



■申込み…参加無料。事前の申込みは不要です。当日、時間までに集合してください。小学生以下の場合は保護者もいっしょに参加してください。
■その他…当日はぬれても良い服装（雨具・長靴など）でおいでください。また、稚魚放流に使うバケツを持参してください。
■問合せ…信濃川・清津川対策室
☎757-3198

投票日
4月10日(日)

県議会議員選挙は、4月1日(金)に告示、4月10日(日)に投票が行われます。私たちの暮らしに密接な選挙です。積極的に投票に参加しましょう。

新潟県議会議員一般選挙

投票資格

- ① 十日町市の選挙人名簿に登録されている人
 - ② 4月10日現在で満20歳（平成34年4月11日生まれ）以上の人
 - ③ 平成22年12月31日以前から十日町市に住民登録している人
- ※1月1日以降に県内の市町村から転入した人は、最寄りの市町村から「引き続き県内に住所を有する旨の証明書」をもらい、前住所地の市町村で投票することになります。ただし、県内住所異動が2回以上の人は、選挙資格がありません
- ※県外に転出した人は、選挙資格がありません

入場券

入場券は、はがきでお届けします。はがきは、表と裏の下の隅の

表示か所をはがすと、三つ折りになった入場券になっています。ミシン目で切り離し、各自が投票の際に持参してください。

なお、入場券がない場合でも投票所で再発行します。

投票時間

投票は、全投票所で午前7時から開始となります。ただし、終了時間は投票所によって異なりますので、入場券に記載してある投票終了時間と投票所をよく確認し、投票してください。

期日前投票・不在者投票

投票日当日、都合により投票所に行けない人は、期日前投票または不在者投票ができます。入場券が届いていない人も投票はできますが、届いていたら忘れずにお持ちください。印鑑は不要です。

■期日前投票

宣誓書の提出が必要ですが、その場で直接投票箱に投票することができます。期日前投票所は、下表のとおり開設されます。都合の良い投票所で投票してください。

■不在者投票

指定病院や老人ホームなどに入院・入所している人、学生や仕事などで十日町市を離れている人、郵便などによる不在者投票の対象となっている人は、投票用紙を専用封筒に封入して署名する不在者投票となります。学生や仕事などで十日町市を離れている人は、選挙管理委員会へ問い合わせてください。

※指定病院や老人ホームなどに入院・入所している人は、病院・施設の担当者に申し出てくださ

い

【期日前投票所の受付期間と時間】

投票所	受付期間	受付時間
十日町保健センター（市役所隣） 1階 選挙事務室	4月2日(土) ～4月9日(土)	午前8時30分 ～午後8時
川西庁舎1階 地域活動室	4月3日(日) ～4月9日(土)	午前8時30分 ～午後7時
中里庁舎3階 中会議室		
松代庁舎4階 多目的室		
松之山庁舎1階		

※期日前投票所によって、受付期間と時間が異なりますのでご注意ください



郵便などによる不在者投票

次のいずれかに該当する人は、郵便による不在者投票ができます。ただし、事前に「郵便投票等証明書」の交付を受ける必要があります。この証明書は、交付の日から7年間（要介護者は介護認定の有効期間）有効です。

- ① 身体障がい者手帳に次のいずれかの障がい記載されている人
 - ・ 両下肢、体幹または移動機能の障がいの1級または2級
 - ・ 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障がいの1級または3級
 - ・ 免疫、肝臓の障がいの1級から3級
 - ② 戦傷病者手帳に次のいずれかの障がい記載されている人
 - ・ 両下肢、体幹の障がいの特別項症から第2項症
 - ・ 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障がいの特別項症から第3項症
 - ③ 介護保険の要介護状態区分が「要介護5」と記載されている人
- ※郵便などによる不在者投票の請求期限は、投票日の4日前の4月6日(水)です

郵便などによる投票の代理記載制度

郵便などによる不在者投票ができる人のうち、次のいずれかに該当する人は、代理記載制度を利用することができます。

- ① 身体障がい者手帳に次の障がい記載されている人
- ・ 上肢あるいは視覚の障がいの1級
- ② 戦傷病者手帳に次の障がい記載されている人
- ・ 上肢あるいは視覚の障がいの特別項症から第2項症

開票

- 日時…4月10日(日)午後9時～
 - 会場…市総合体育館
- ※開票状況は、市のホームページ（<http://www.city.tokamachi.lg.jp/>）に随時アップするほか、開票所でも公表します

選挙区と定数

十日町市中魚沼郡選挙区（十日町市・津南町）定数2人

■ 問合せ…選挙管理委員会（十日町保健センター1階） ☎ 757-3191

重度心身障がい者へ交通費の一部を助成しています

市内在住で重度の障がい者手帳を持っている人へ、タクシー料金や通院費などの一部を助成しています。希望する人は申請してください。

助成内容	対象	利用方法
① タクシー利用券：500円券を最大20枚（人工透析者は最大40枚）。	○ 身体障がい者手帳1・2級の人及び3級で内部・視覚・下肢・体幹障がいの人 ○ 療育手帳Aの人 ○ 精神障がい者保健福祉手帳1級の人	利用券をタクシー降車時に金券として支払ってください。
② タクシー利用料金助成：タクシー利用料金の半額を助成（上限2,000円）。最大12回（人工透析者は最大24回）。		タクシー利用時に利用者の記名入りの領収書をもらい、市役所に申請してください。後日、本人口座に振り込みます。
③ 交通費助成：10,000円を助成（年1回）。	○ 上記の障がい者で、自宅からの直線距離が5km以上離れた病院または障がい者施設に自家用車で通う人（通院4回以上、通所6か月以上）	平成23年4月以降に病院で発行された領収書4枚、または障がい者施設で発行された通所証明書を用意して申請してください。
④ 人工透析通院費助成：自宅から診療所までの直線距離により、1,500円～3,000円／月を助成。	○ 人工透析のために、小千谷総合病院十日町診療所に通院する人	病院で発行された領収書を持参して申請してください。

※①～④のいずれか1種類のみを選択できます。なお、①②④の助成は、事前に申請が必要です

● 問合せ 福祉課障がい福祉係 ☎ 757-3782、または各支所市民課

手 当

介護を必要とする在宅の障がい者、またはその介護者に支援する手当などです

制度名	対象	支給額
⑦特別障がい者手当	20歳以上で、重度の障がいを重複しているため、日常生活に常時特別の介護を必要とする人 ※施設に入所している人や病院に3か月以上入院している人を除く ※平成23年1月から障がい基準に視野障がいの程度が明記されました ※本人および家族の所得制限があります	月額26,440円
⑧障がい児福祉手当	20歳未満で、重度の障がいのため、日常生活に常時介護を必要とする児童 ※施設に入所している児童を除く ※本人および家族の所得制限があります	月額14,380円
⑨特別児童扶養手当	20歳未満で、重度または中度の障がいがある児童を養育している保護者 ※対象児童が児童福祉施設などの施設に入所しているときや障がいを事由とする公的年金給付を受けることができるときは対象外 ※本人および家族の所得制限があります	児童1人につき 1級 … 月額50,750円 2級 … 月額33,800円 (4月から改定予定額) 1級 … 月額50,550円 2級 … 月額33,670円
⑩重度心身障がい者介護手当支給事業	○在宅の65歳未満の身体障がい者手帳所持者で1級または規則で定める程度で、日常生活で常時の介護を必要とする人 ○在宅の20歳未満の障がい児者で、身体障がい者手帳2級または規則で定める程度で、日常生活で常時の介護を必要とする人	介護者に対して障がい児者1人につき月額5,000円
⑪在宅重度重複障がい者介護見舞金(県事業)	在宅の重度重複障がい者を常時介護している人で次のすべてを満たす人 ①療育手帳「A」の交付を受けている人 ②身体障がい者手帳1級の交付を受けていて、障がい重複している人 ※本人および家族の所得制限があります	介護者に対して月額20,000円

年金など

障がい者の生活を支えるための制度です

制度名	対象	支給額
⑫障害基礎年金	国民年金に加入していた人が、加入期間中に初診日のある傷病によって、1級または2級の障がい状態になったとき支給されます。また、20歳前に初診日がある場合は、20歳に達したときから受給できます。(1級と2級があります。障がい者手帳の等級とは異なります) ※20歳前傷病による年金請求は所得制限があります ※国民年金保険料の滞納期間が長いと該当しない場合があります	年金額(平成22年度) 1級 990,100円 2級 792,100円
⑬障害厚生年金	厚生年金に加入していた人が、加入期間中に初診日のある傷病によって、1級または2級の障がい状態になったとき、障害基礎年金と障害厚生年金が併せて支給されます。障害厚生年金として独自の3級や障がい手当金があります。	個別に計算されます。
⑭心身障がい者扶養共済	○加入できる人 心身障がい者の保護者で、次の条件をすべて満たす人 ◇年齢が65歳未満の人(4月1日現在)◇市内に住所がある人◇特別な疾病や障がいがない人 ○共済の対象となる心身障がい者 ①知的障がいがある人 ②身体障がい者手帳の1級から3級までを所持する人 ③障がいの程度が、①または②と同程度と認められる人(精神疾患、脳性麻痺、進行性筋萎縮症、自閉症、血友病など)	加入者が死亡、または重度障がいになったとき、障がいのある人に支給 加入口数 月 額 1口 20,000円 2口 40,000円 ※掛金：9,300円～23,300円(加入時の年齢により異なります)

障がい者の福祉制度②

～障がい者の各種医療費助成・手当・年金などの制度を紹介します～

■担当・問合せ
①～④・⑦～⑪・⑭は福祉課障がい福祉係 ☎757-3782、⑤は子育て支援課子育て支援係 ☎757-3719、⑥は市民生活課国保係 ☎757-3735、⑫・⑬は市民生活課市民年金係 ☎757-3748、または各支所市民課

医療費の助成

障がい者の医療費の負担を軽減します

制度名	対象	制度概要
①重度心身障がい者医療費助成制度(県障)	○身体障がい者手帳1～3級の交付を受けている人 ○療育手帳Aの交付を受けている人 ※本人及び家族の所得制限があります	外来：1回530円を除いた医療費を助成、医師の処方による薬剤は全額助成 入院：1日1,200円を除いた医療費を助成 訪問看護：1日250円を除いた訪問看護療養費を助成
②心身障がい者医療費助成	療育手帳Bの交付を受けている人 ※本人及び家族の所得制限があります	外来：1回530円を除いた医療費の2分の1の額を助成、医師の処方による薬剤は2分の1の額を助成 入院：1日1,200円を除いた医療費の2分の1の額を助成
③精神障がい者医療費助成	○精神科の特定の病名で入院治療を受けている精神障がい者 ○自立支援医療(精神通院)を受けている精神障がい者 ※生活保護者と後期高齢医療費制度加入者を除きます	精神疾患での入院または通院医療費の自己負担額の3分の1を助成(助成の限度額は月10,000円) 外来：医療費1か月の自己負担額が530円以上のものが対象 入院：医療費1か月の自己負担額が24,600円以上のものが対象
④自立支援医療	○精神疾患の治療のため医療機関に通院している人 ○身体障がい者で更生医療を受けている人(人工透析療法、角膜移植術など障がい除去・軽減するための医療) ○18歳未満で育成医療を受けている人(一定の所得以上の人を除く)	医療費の自己負担1割 ※世帯の課税状況に応じて、1か月の自己負担上限額を設定
⑤ひとり親家庭等医療費助成	○母子家庭 ○父子家庭 ○親に重度の障がいのある児童とその養育者(子が18歳に到達する年度の3月末日まで) ※本人及び家族の所得制限があります	外来：1回530円を除いた医療費を助成、医師の処方による薬剤は全額助成 入院：1日1,200円を除いた医療費を助成
⑥後期高齢医療制度	○75歳以上の人 ○65～74歳の下記に該当する場合で加入を希望する人(加入手続きが必要です) ・身体障がい者手帳1～3級の交付を受けている人 ・養育手帳Aの交付を受けている人 ・障がい基礎年金、障がい年金受給者など	医療費の自己負担1割(所得によっては3割)(任意加入しない場合の医療費) ・65～69歳の方は自己負担3割 ・70～74歳の方は自己負担1割(所得によっては3割) ※保険料負担は、加入していた保険や所得、資産状況などにより、従来と比べて増額する場合があります

協働のまちづくりフォーラム2011開催 『源流から本流へ』『新しい公共』のこれから



2月27日(日)、市民会館で「協働のまちづくりフォーラム2011」が開催され、約300人が講演や実践発表などをおして、「新しい公共」について情報交換しました。

●まちづくり講演

「地域に生きる」とは

『新しい公共と地域再生』

講師 上村 靖司 氏

(長岡技術科学大学工学部 准教授)

■「近所の力は行政の力の約8倍
昭和35年に災害対策救助法が成立するまでは、自然災害での死者数が全国で年間6、000人前後もありました。しかし、この法律で防災や災害対策は行政が担うものとして位置づけられてから平成7年までは、年間1、000人を切るようになりました。そのため、当時はだれもが「防災＝行政」と思っていました。

ところが、平成7年に6、000人近い人が犠牲になった阪神淡路大震災が発生し、それまでの考えが変わります。地震の倒壊現場では、警察や消防などが救った人数より、近所の人が救った人数が約8倍も多かったのです。被害が大きすぎて、警察や消防は間に合わなかったからです。このとき住民は、「行政に頼っているだけではダメ、地域で力を合わせることで大事だ」と気付きました。

■「支援力」だけでなく「受援力」を高めよう

このことは雪処理でも同じです。しかし、豪雪地では高齢化が全国平均より進み、おまけに過疎も進んでいるので、雪処理を担う「近所の力」が不足しています。

担い手の確保が一番の課題です。そこで、平成18年豪雪を機に、「越後雪かき道場」を始めました。これは、スニーカーで雪処理のボランティアに来るような「ヤクタズ」をあえて相手にし、道場の座学・実学をおして、雪かきの担い手に仕立てるものです。今年で5年目となり、通算約600人が参加しました。

雪処理は、担い手や道具など支援する側の力を高めることばかり



●昭和41年、新潟県川口町(現長岡市)生まれ

●専門は雪氷工学。中越地震を契機として、被災地の地域復興計画策定や地域復興支援に関わる。

●中山間豪雪地帯の除雪支援として「越後雪かき道場」を主宰し、防災・地域振興の実践に取り組む。

考えがちですが、それよりも大事なのは、受け入れる側が、それなりの覚悟と準備、責任を持つことです。これを「受援力」と呼んでいます。担い手を求めるだけでなく、受ける側が受援力を高めて、「ドシロウト」が来てもそれなりの雪かき者に仕立てる力を備えることが、これからの担い手確保のうえで重要になると思います。

■地域みんなで「小さな役場」をつくろう

長岡市山古志に、地域の人が走らせているコミュニティバスがあります。路線バスの廃止をきつかけに、地元の建設会社、清掃会社、車両整備工場が中心になってNPOを立ち上げ、山古志の住民の9割以上が会員となり、一人5、000円の年会費を払ってバスを運行・利用しています。

その結果、赤字補てんしても利用者がほとんどなかった路線バスから、発足から3か月で1万人が利用する優良バスに生まれ変わりました。人口1、400人の村で、1万人です。行政の補助は赤字補てんしていた額の10分の1です。

山古志の場合は、公共交通という地域課題の受け皿が住民たちのNPOでした。このような組織が、

バスだけでなく除雪などを請け負えるようになれば、「地域のことが分かる地域の人」が公共サービスの担い手になります。そんな地域の課題解決に取り組む住民の組織を、「小さな役場」と呼んでいます。地域サービスは地域で担います。役所は縦割りを見直して財源を生む。生まれたお金は小さな役場に渡す。お金の管理責任が生まれれば、小さな役場はさらにきちんとした組織になります。

行政があればこれもとやれる時代ではありません。地域のことは地域の人がやった方が、地域にとってもプラスです。それを担う「小さな役場」を住民がつくっていくことが、これからの過疎高齢化地域に求められていると思います。

●協働セッション

とおかまち流

「新しい公共」の実践

協働セッションでは、市内で「新しい公共」の担い手として活躍している団体が実践事例を発表(I・IV)し、その後、関口市長から新しい提案がありました(V)。

I 中山間地集落の支援／

地域おこし協力隊 多田朋孔

氏・門脇洋子氏・深山恭介氏

地域おこし協力隊として、日ごろの活動内容(地域の共同作業や高齢者の生活支援など)や今後の目標を発表。全国の過疎集落が目標とするような成功集落をつくりたいなど、力強く発言しました。

II 市民活動団体の支援／

十日町市らしい市民活動推進ネットワーク 代表 渡貫文人氏
市民活動を推進することを目的に、市民活動団体やNPO法人の関係者が集まって組織した団体。今後の方針を発表し、いっしょにかかわる仲間を募集しました。

III これからの住民自治／

十日町市地域協議会連絡協議会 会長 生越誠一氏
現在、地域協議会を中心に進めている、地域自治組織の見直しの概要を報告。市から地域へ助成している補助金などをまとめ、交付金とすることも検討しています。

IV 十日町市の「協働」／
協働のまちづくり推進プロジェクトチーム
協働のまちづくりモデル事業の取り組みのうち、市民活動見本市「めっかめっか」、おらどこの棚田体感ツアー、大地の宵祭りを開催したことなどを報告。「新しい公

共モデル事業」についても発表しました(市報2月25日号参照)。



V まちづくりの基本条例策定に向けて／十日町市長 関口芳史

自治体の憲法とも呼ばれる「まちづくりの基本条例(自治基本条例)」の策定を目指して、23年度から検討を始めることを提案。中央集権から地方分権、地域主権へと進む自治の流れ、市内でも「新しい公共」の担い手が広がっていることなどから、今だからこそまちづくりの条例を制定したいと話しました。この条例は、策定していく過程で市民の関心や機運が高まることが重要で、市の将来像や実現に向けた方針、仕組みなどを明確化し、市民みんなが共有できる条例を目指します。



「日本一の十日町心粋の食」事業

こめ道楽まつり

■日時：3月26日(土)・27日(日)
午前10時～午後3時
■会場：キナーレほか

市では、農林水産省の補助事業を活用し、「日本一の十日町^{こころいき}心粋の食」事業を実施して“食”による地域活性化を目指します。事業では、コシヒカリと地元食材にこだわった新メニューを開発。『こめ道楽まつり』でお披露目しますので、皆さんも新メニューの試食・審査に参加しませんか。

24時間耐久餅つきレース うさぎに挑戦?!五穀豊穡祈願 How many もちペッタン24 26日正午スタートー27日正午ゴール

参加グループ（1グループ5人）を2チームに分け、リレー形式で24時間もちをつき続ける対抗戦。Ustream（ユーストリーム）によるライブ中継も行いますので、会場で、自宅で、体力の限界に挑む出場者を応援しませんか。

来場者がもちつき体験できるコーナーもあります。つきあげたもちの一部は、当日会場でふるまいます。

地元飲食店の自慢の料理に舌鼓 心粋の食めぐり

こめ道楽まつりが開催される2日間、市内の飲食店（一部）で、各店オリジナルの「新・お米グルメ」を味わえます。

参加店やメニューなど詳細は、イベント当日に配布されるガイドブックまたは市観光協会ホームページをご覧ください。

コシヒカリ料理・コシヒカリの友 新・お米グルメ選手権 両日とも午前10時30分～正午（予定）

十日町市自慢のコシヒカリと食材がふんだんに使われた新メニューを、来場した皆さんに試食・審査してもらいます。部門は「まんまグルメ」「おかず・お友」「スイーツ」の3つで、それぞれ5品程度を用意。部門ごとに選ばれた最優秀メニューは、『妻有御膳』として表彰する予定です。

なお、数に限りがありますので、試食してみたい人はお早めに！



■問合せ：市観光協会 ☎757-3345

十日町地域消防署しづみ分署完成！

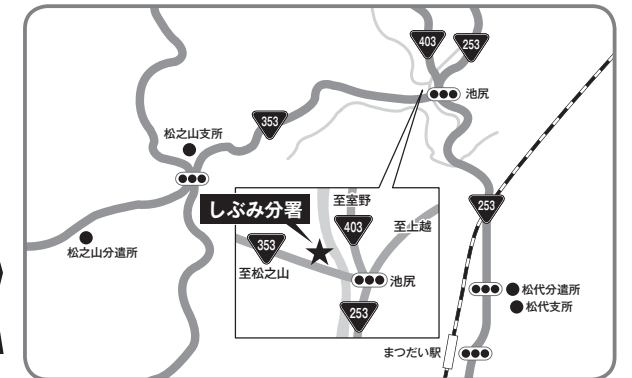
松代分遣所と松之山分遣所は、小谷地内に新築した「十日町地域消防署しづみ分署」に統合し、4月1日から業務を開始します。



十日町地域消防署しづみ分署

〒942-1402 十日町市松之山小谷969-5
☎597-2310 FAX597-2309

※しづみ分署は、旧松代分遣所の電話番号になります。松之山地域の皆さんは注意してください



「しづみ分署」の業務開始に伴い、次の日程で各分遣所が移転します。

- ◆松代分遣所：3月15日(火)（開署準備のため先行移転）
- ◆松之山分遣所：4月1日(金)

皆さんの来場をお待ちしています！
しづみ分署施設見学会
3月27日(日) 午後1時～4時

市に住まいづくり・まちづくりの基本計画となる「十日町市住生活基本計画」の策定を進めてきましたが、計画案がまとまりましたので、広く市民の皆さんから意見を募集します。

◇募集期間
3月14日(月)～28日(月)

◇計画案の閲覧場所
・都市計画課、各支所農林建設課
・各地区公民館
・情報館
・市ホームページ

◇意見の提出方法
持参・郵送・FAX・電子メールのいずれかの方法で、都市計画課に書面で提出してください。
※用紙は各閲覧場所に用意しています。また、ホームページからも印刷できます

◇問合せ：都市計画課建築住宅係
〒948-8501 十日町市千歳町3-3、☎757-1993
35、FAX752-4635、電子メール：t-toshi@city.tokamachi.jp

住生活基本計画案に対する意見を募集します

地産地消 新鮮

おいしい

農家の皆さんが
丹精込めてつくっています。

地元で作られたものを
地元で食べる。

その営みを拡大するために、
十日町で作られている農産物
などを紹介していきます。

十日町産を食べよう！

No. 7 オータムポエム

冬の寒さの中、ハウスでゆっくり成長することで甘みを蓄える
オータムポエム。黄色の花が春を感じさせます。



川西地域にある榎あいポート仙田では、真冬のハウスの中で気温を5℃に保ちながらオータムポエム（アスパラ菜）を生産しています。寒い冬に育てるからこそ、甘みのあるオータムポエムになります。ハウスの中、虫があまりつかない冬の生産のため、無農薬で栽培することができます。青物が無い冬の時期、茎は太くて甘く、花もおいしく食べられます。300g150円と手ごろな価格で道の駅「瀬替えの郷せんだ」で販売していますので、ぜひ一度お試しください。

〈収穫時期〉12月～3月

〈おいしい食べ方〉

おひたし、和え物、炒め物、漬物、生で（太い茎）など

●問合せ 農林課農業企画係 ☎757-3120

全国大会で十日町市勢が大活躍

相次いで開催されたスキー大会で、十日町市から出場した選手が大活躍しました。各大会の入賞者を紹介します。（敬称略）

第48回 全国中学校スキー大会

2月7日(月)～10日(木) 福島県猪苗代町

○男子5kmフリー：春日耀介／6位○男子5kmクラシカル：春日耀介／2位、柳大地／4位○男子リレー：新潟県チーム（小澤幹、柳大地、春日耀介）1位○女子3kmフリー：齋木愛里紗／2位、酒井梨奈／4位○女子3kmクラシカル：酒井梨奈／3位、齋木愛里紗／7位、佐野涼香／8位○女子リレー：新潟県チーム（佐野涼香、酒井梨奈、齋木愛里紗）1位（以上吉田中）

第66回 国民体育大会冬季大会スキー競技会

2月12日(土)～15日(火) 秋田県鹿角市

○男子10kmクラシカル：佐藤友樹／2位、藤ノ木光／5位○男子リレー：新潟県チーム（藤ノ木光、佐藤友樹）1位○女子5kmクラシカル：大平麻生／3位○女子リレー：新潟県チーム（大平麻生）2位（以上十日町高校）

第60回 全国高等学校スキー大会

2月6日(日)～10日(木) 岩手県八幡平市

○男子15kmフリー：佐藤友樹／1位、藤ノ木光／3位○男子10kmクラシカル：藤ノ木光／8位○男子リレー：十日町高校（大島宗則、藤ノ木光、小林洋介、佐藤友樹）2位○女子10kmフリー：大平麻生／2位○女子5kmクラシカル：大平麻生／4位（以上十日町高校）○男子リレー：十日町総合高校（田中正輝、柿崎祐司、安部拓也、羽鳥拓哉）10位○女子10kmフリー：長谷川悠／3位（十日町総合高校）○学校対抗：十日町高校（男子）総合2位、十日町高校（女子）総合8位

第23回 全国高等学校選抜スキー大会

2月18日(金)～20日(日) 岐阜県高山市

○男子10kmフリー：佐藤友樹／1位○男子10kmクラシカル：佐藤友樹／1位、藤ノ木光／4位○女子5kmフリー：大平麻生／2位○女子5kmクラシカル：大平麻生／2位、坂詰和絵／9位（以上十日町高校）○男子10kmクラシカル：田中正輝／10位○女子5kmクラシカル：長谷川悠／8位（以上十日町総合高校）

小中一貫教育

Q & A

その4

■問合せ 学校教育課 ☎757-3336

十日町市が進める「小中一貫教育」について説明します。

Q 具体的にどのようなことを実施していくのですか。

A 「十日町市小中一貫教育基本計画」に基づき、おもに次の4項目を進めていきます。

1 学力や学習意欲の向上及び学習習慣の確立を図ります。

・全体を見通した指導計画の検討
・小学校5・6年と中学校1年のつながりを重視した指導体制の工夫

・発達段階に応じた指導方法や、自主的な学習の在り方の検討

2 中1ギャップの解消と豊かな心をはぐくみます。

・小・中学校で共通して取り組む指導の明確化と実践

・9年間の発達段階に応じた指導目標の設定と指導体制づくり

・中学校区の課題解決に向けた教職員と保護者の協力体制の整備

3 特別支援教育の二一ズに対応します。

・市立の特別支援学校（平成25年4月開校予定）や関係機関との

連携強化

・特別な支援が必要な児童生徒を支援するための体制づくり

・「個別の教育支援計画」に基づく、児童生徒の視点に立った特別支援教育の実施

4 児童生徒の交流を推進し、社会性をはぐくみます。

・小学校間や小・中学校間の交流の充実による相互理解の促進
・小学生は中学校生活に期待を、中学生はだれかの役に立っているという自覚を持つための交流活動の実施

これまで、モデル中学校区の23年度の計画案を基に、教員を対象とした学習会を2回開催しました。今後、各中学校区の現状や課題を踏まえて、目指す子どもの姿や指導の重点などを検討し、推進計画などを作成します。来年度はより具体的な取り組みを各中学校区で進めていきます。

キヨロ口発 十日町市

「だいじんがあ」みつけ！



く雪に適応したユキツバキ

「背をかがめて微笑み返す花は越後の雪椿」と歌われる小林幸子さんの名曲『雪椿』。雪国のブナ林を代表する植物の一つが、このユキツバキです。

ユキツバキは北陸から東北の日本海側を中心に分布し、中でも新潟県では最も高密度で生育量も多く、十日町市でも多くのブナ林で見ることができます。赤い花とツルツルした常緑の葉、地面をはうような樹形が特徴の樹木です。

このユキツバキ、雪と非常に密

光合成を開始します。また、地面に付いた枝からは根が発生し、高く高くというよりは、横へ横へと成長していきます。

雪の少ない地域に生息する近縁種のヤブツバキは高さ10mほどにもなりますが、ユキツバキは多雪環境に適応するために、しなやかな枝や高くない性質を獲得しました。

4～5月、ブナ林へ出かけてみませんか。可憐な花をつけるユキツバキが、背をかがめて微笑み返しています。

■問合せ キヨロ口

☎595-8311



ユキツバキ



直線距離1、500 km。沖繩県久米島町と中里地域の距離です。この2地域の共通点である地域の呼び名の“なかさと”交流が、2月17日(木)から20日(日)の4日間にわたって行われました。

いさつしました。その後、久米島町の児童の皆さんは中里地域の3つの小学校に分かれ、それぞれの学校で交流。初めて見て触る雪を満喫しました。また、田沢小学校では、ちんころと笹だんご作りを体験。笹だんごのスゲの結び方に奮闘しながら、仲良く教え合って作成していました。その後はそれぞれホームステイ先の家族と合流し、スキー体験や十日町雪まつりなどを楽しんだ児童の皆さん。今年の夏、久米島町でまた会うことを楽しみにしています。

20年つながる絆
第40回なかさと交流会

仲里村と旧中里村で始まり、冬は久米島町の児童が中里地域を、夏は中里地域の児童が久米島町を訪問。お互いの家でホームステイをし、文化や伝統体験を通じて交流をめぐんでいます。

田沢小学校で行われた全体の歓迎式では、訪問生代表の仲里海さんが、「友だちをたくさんつくり、新潟の文化を知って、久米島の文化も知ってもらいたいです」とあ

などを楽しんだ児童の皆さん。今年の夏、久米島町でまた会うことを楽しみにしています。



中里支所
☎763-3111



雪ほりは、集落の皆さんなどが指導しながら、蒲生・名平集落の5か所で作業。かんじきを履いて

2月8日(火)から14日(月)までの7日間、早稲田大学学生ボランティアサークル「まつだい早稲田じよんのびクラブ」の23人が、「まつだい雪ほりプログラム2011」で蒲生集落を訪れました。毎年開催されているこの活動は、今回で14回目。学生たちは、雪ほりや力モリンピック(雪上運動会)、民泊などをとおして集落の皆さんと交流を深めました。

まつだい雪ほりプログラム



屋根に上がつたり、落とした雪を片づけたりと、いっしょに汗を流しました。作業した学生は、「想像していたフワフワの雪と違って、固くて重いです。大変だけれど楽しいですね」と都会では体験できない大雪に笑顔を見せました。

巨大なかまくらが作られた会場でのカモリンピック。そりから転げ落ちる「そりレース」や雪玉が割れるハプニング続出の「雪玉ころがし」など、学生オリジナルの競技を楽しみました。昼食には学生たちが蒲生の棚田で栽培した「じよんのび米」のおにぎりなどに舌鼓。その後は冬祭りも行われ、冬の晴れ間に楽しいひとときを過

初心者歓迎！ソフトウェアロビ講座



初心者の人や足腰が痛む人など、どんな人でも気軽にできるソフトエアロビ講座をミオン中里で開催中です。2月23日(水)には12人が参加。二人一組でボールを投げ合い、楽しく体をほぐした後は、呼吸を合わせて筋トレを行いました。エアロビクスでは、リズムに乗って前後左右に足踏み。続けて参加している人からは、「肩こりがなくなった」「風邪を引かなくなった」と喜びの声があがっていました。

同教室は毎週水曜日午後7時20分から約1時間行っています。4月からは新たに月曜コースも新設。詳しくは中里支所市民課健康・子育て係（☎763-3121）に問い合わせてください。

田沢本村の村山治さん（60歳）。山菜採りや溪流釣りなど、山歩きを趣味にしています。十日町猟友会にも所属していて、クマやイノシシなどの被害によって鳥獣対応パトロール要請が届くたび、村山さんは家業の傍ら毎日のように出かけたそうです。また、この冬は新たにイノシシの生態調査の仕事を引き受けました。雪の中の足跡や寝床跡を見つけるのだそうです。農作物が動物の被害にあって困っている人には応えたいそうですが、猟友会の会員は高齢化・減少傾向にあります。「仲間もいるので、元気なうちは続けたい」と話す村山さん。猟友会の指導の下、農家の人ができるタヌキ用の捕獲機があるとのことで、「捕獲許可期間に限りませんが、借りたい人は声をかけてほしい」と話していました。



松代の自然

カケス



『雪地獄』の様相を示した23豪雪も矛を収めたらしい、2月9日の朝、窓の外をカケス（カラス科）が1羽飛んで、杉の大木に垂直に止まりました。彼らにはこのような技があったようです。続いてもう1羽飛来して枝に止まりました。さらに、別の方角から2羽のカケスが飛んで来て、去っていきました。豪雪の中、2つがいのカケスが生息していたのです。



カケス

本来はギャーギャーという悪声ですが、ほかの鳥などのものまねがうまくことで有名です。飼えば人に馴れるようで、ずっと前にある人がオバという名で飼っていた、「オバたばこ持ってきて来てくれ」と言つと、たばこの入れ物を引きずってきてみじよかつたといいます。個体は少ないですが、絶滅することなく種族が続いているので、案外たくましいようです。

『遠野物語』には、ある人が力ケスを撃ったところ、何千何百もの仲間が報復に押し寄せ困惑したという話が載っています。カラスの仲間は集団で襲う傾向にあるので用心。

(文 高橋八十八・絵 『原色少年動物図鑑』より)





村山 奏乃ちゃん むらやまかのちゃん
平成20年10月24日生まれ
高田町3東

たくさん言葉を覚えていっぱいおしゃべりできるようになったかのちゃんは、ダンスが得意！AKB48の曲に合わせて、自分で振付けをして踊ります。パパが大好きで、仕事から帰ってくるとパパのそばから離れないかのちゃんです。



69



岩田 十萌ちゃん いわたともえちゃん
平成20年3月1日生まれ
四日町新田3 (写真右)

ちょっと人見知りしちゃうけど、踊るのが大好きなともえちゃん。保育園の発表会では元気いっぱいダンスを披露しました。仲良しのこうきお兄ちゃんといっしょに、ウルトラマンセブンに夢中です。

予防接種は、病気に対する抵抗力（免疫）を体内につくってお子さんの健康を守ったり、感染症が流行するのを防いだりするために行われます。

予防接種には、それぞれ接種に適した年齢がありますので、その年齢に合わせて、なるべく早い時期に受けるようにしましょう。各予防接種の対象年齢は、下表を参考にしてください。

いずれの場合も、対象年齢を過ぎると自費での接種（任意接種）になりますので注意してください。

※乳幼児や学齢期のお子さんがいる家庭では、各予防接種が済んでいるかを母子健康手帳で確認しながら、計画的に接種を受けてください

◎そのほかの定期予防接種は個別接種で行います。個別接種は、接種を受ける人が直接医療機関に申し込んでください。

定期予防接種を受けましょう



問合せ 健康支援課母子保健係
TEL757-9759

《定期の予防接種》

予防接種の種類	対象年齢	標準的な接種期間	接種回数・間隔
B C G	生後6か月未満	生後3か月以上6か月未満	1回接種
ポリオ	生後3か月以上7歳6か月未満	生後3か月以上18か月未満	41日以上の間隔で2回接種
三種混合	生後3か月以上7歳6か月未満	生後3か月以上12か月未満	20～56日の間隔で3回接種
		初回終了から12～18か月後	1回接種
二種混合	11歳以上13歳未満	11歳	1回接種
日本脳炎	生後6か月以上7歳6か月未満	3歳	6～28日の間隔で2回接種
		初回終了からおおむね1年後	1回接種
	9歳以上13歳未満	9歳	1回接種
麻疹風しん	1歳以上2歳未満	—	1回接種
	小学校就学の前年度	—	1回接種
	中学1年生に相当する年齢	—	1回接種
	高校3年生に相当する年齢	—	1回接種

※日本脳炎第1期の不足分は、第2期の年齢で受けられる特例措置があります



スポーツで、まちを元気に

就職してまだ2か月、先輩たちから学ぶ毎日です。クラブには、幼児からお年寄りまで、市民の皆さんの健康促進のためのいろいろなスポーツ教室があり、現在は小学生の陸上運動あそび教室などを担当しています。子どもたちから体育が一番好きで、ずっとスポーツをやってきたので、楽しくてやりがいのある仕事です。休日は映画を見に行ったり、ドライブに出かけたりします。

今後はクラブマネージャーの資格をとり、クラブの運営にもかかわっていきけるようにと思っています。若い世代が楽しめるスポーツ教室を主催するのが目標です。スポーツを通じて地域を活性化し、多くの若者が魅力を感じ、住みたいと思うような十日町市にしたいです。この地域と市民が、スポーツをすることで元気になってもらえらうといいですね。



小川 将吾さん 1987年生
NPO法人 ネージュスポーツクラブ勤務

先月の南雲美佳さんからのバトンタッチ。

と お か ま ち 観光ドット混む情報

観光交流課 ☎757-3100

スノーカントリーカフェ2011

雪国観光圏では、「スノーカントリーカフェ2011」と題して、縄文から続く雪国文化をテーマとした講演会とワークショップを開催します。国宝・火焰型土器群をはじめとする当地域の観光資源について、観光圏内のさまざまな参加者が集まって意見交換が行える機会です。今回は市内での開催となりますので、奮って参加してください。

■日時：3月18日(金) 午後1時30分～4時

◎第1部

講演会（午後1時45分～3時）

「神秘の火」縄文から続く雪国スピリット
写真家 滋澤雅人さん

◎第2部

ワークショップ（午後3時10分～4時）
世界に誇る雪国縄文文化
雪国の越冬食「漬物」を交えた座談会

■会場：クロス10

■申込み・問合せ：雪国観光圏事務局（湯沢町観光協会内）☎025-785-5222、FAX025-785-5333）

※3月15日(火)までに申し込んでください



こころ、真っ白

雪国観光圏
uonuma minamiuonuma
yuzawa tokamachi
tsunan minakami sakae

【リサイクル本市】情報館の蔵書で不要になった図書や雑誌をゆずります。利用には情報館の利用者カードが必要です。●日時 3月19日(土) 25日(金) 午前9時30分～午後7時(土・日曜日、祝日は5時まで、22日(火)は休館日) ●持ち帰り冊数 図書・上限なし、雑誌・1人5冊まで 【読書サロン第4弾】江戸時代を舞台にした時代小説がテーマです。お気に入りの時代小説を持ち寄ってください。参加者同士でお気に入りの小説の感想や魅力についてじっくり語り合

情報館でイベント開催！

GUIDE し講座 催講



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

新入社員に必要な基礎知識や職場でのマナーなどを学びます。●日時 4月8日(金) 午前9時～午後5時 ●受講料 会員2,000円、非会員4,000円(昼食・資料代含む) ●持ち物 筆記用具 ●会場 申込み・問合せ 3月25日(金) までに十日町商工会議所 ☎757-5111

自閉症の人に合わせたコミュニケーション手段の実践や問題行動を軽減する方法を学びます。●日時 3月19日(土) 午後1時～3時30分 ●会場 千手中央コミュニティセンター ●参加費 1,000円 ●講師 寺尾孝士さん(札幌すぎな園統括施設長) ●申込み・問合せ 障がい者地域生活支援センター あおぞら ☎75

いましよう。●日時 3月29日(火) 午前10時～正午 ●会場 問合せ 情報館 ☎750-5100

十日町商工会議所
新入社員実務基礎セミナー

新入社員に必要な基礎知識や職場でのマナーなどを学びます。●日時 4月8日(金) 午前9時～午後5時 ●受講料 会員2,000円、非会員4,000円(昼食・資料代含む) ●持ち物 筆記用具 ●会場 申込み・問合せ 3月25日(金) までに十日町商工会議所 ☎757-5111

講演会「自閉症の人たちへの支援」

2-4444

【第7回キナーレ「やせる教室」開講！】●日時 3月24日(木)～6月9日(木) 午後7時30分～9時15分(全10回) ※5月5日・6月2日は休講 ●会場 明石の湯 ●対象 成人男女 ●参加費 15,000円(教材費・明石の湯入浴付き) ●定員 15人 ●講師 関口陽子さん(エリアDO) ●申込み・問合せ キナーレ ☎752-017

【学校対抗！水中運動会】●期日 3月21日(春分の日) ●時間 午前10時～午後3時 ●対象 小学生とその保護者 ●参加費 600円 ●定員 50人 ※一般開放は中止となります 【女性限定教室体験キャンペーン】 期間中無料で1回受講できます。●期間 3月28日(月)まで ●対象 成人女性 【春の体験教室】 期間中何度でもすべての教室が受講可能です。●期間 3月28日(月)

十日町体力づくり支援センター各種イベント

GUIDE 募集

たかき医院チャリティスプリングコンサート ●日時 4月10日(日) 午後1時～3時 ●入場料 無料 ●出演 佐々木美緒さん(うた・ピアノ)、佐々木央崇さん(マンドリン) ●会場 問合せ 23 たかき医院 ☎758-2361

枯木又エコミュージアムの会 手打ちそばの会

自分で打ったそばを食べながら交流しませんか。黒米そばも作ります。●日時 3月27日(日) 午前10時～(交流会は正午ころから) ●会場 交流施設「のつこい」 ●参加費 一般1,500円、高校生以下700円、幼児無料 ●申込み・問合せ 春川 ☎759-2216

広告掲載

宝石箱の中で眠っているジュエリーはありますか？

受注製作販売の当店にぜひ一度お見せ下さい。きっとすばらしい生かし方が見つかるはずですよ。

★訪問できます。お申し付け下さい。

宝飾品受注製作販売・修理・作り替え・中古ジュエリーの販売・買取・金プラチナ販売・買取

日本ジュエリー協会正会員 日本リ・ジュエリー協議会正会員

ジュエリーアップリッド 創業1978年 寿ダイヤモンド

十日町市中条丙965-4(太子堂) TEL 025-752-2283

平成23年度 新中1塾生 4/4回スタート 募集!

少人数クラス制(定員12名) 週2回(水・金 19:35～21:00)

指導教科：英語・数学 中心 (テスト前はその他教科指導あり)

小5～高3までの進学の為の塾 *その他学年も若干名募集しております。

進学教室 Schule シュール 十日町市本町3 ヤマダヤビル ☎752-0470

※市では広告を募集しています。詳しくは広報広聴係まで
市報とおかまち 平成23年3月10日号



まちの話題

TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報広聴係 ☎757-3112)へ気軽にお寄せください。市民リポーターも募集しています。

雪アートプロジェクト2011

2月26日(土)・27日(日)の2日間、まつだい「農舞台」を会場に「雪アートプロジェクト2011」が開催されました。世界有数の豪雪地である越後妻有で、5組のアーティストたちが雪アートに挑戦。雪を知り尽くした、県内在住のアーティスト12人が集結した「雪アート・新潟ユニット」や、1万個のカラフルな「光のたね」を雪原に植えて作りだした、色鮮やかな光の花畑「Gift for Frozen Village」などのアートが登場し、雪の可能性を感じさせました。



暗黒舞踏「SNOW」

2月20日(日)、まつだい郷土資料館で、平野治朗さん主催の現代舞踊「SNOW」が行われました。約40人の観客はダンサーと触れ合うほどの距離で鑑賞。観客は動くダンサーを追いかけながら最後は外に飛び出すなど、夜の闇と光・音楽・雪がもたらす、不思議な公演に酔いしれていました。



全日本スキー選手権大会クロスカントリー競技開催

2月26日(土)から3月1日(火)にかけて、吉田クロスカントリー競技場で全日本スキー選手権大会が開催されました。短い距離で競うスプリント、順位が一目で分かるパシユート競技などスピード感あふれるスリリングなレースに、観戦する市民は熱い声援を送っていました。



水沢中学校で浴衣の着付け教室

2月23日(火)、水沢中学校で浴衣の着付け教室が行われました。参加したのは、選択家庭科で浴衣を製作した3年生6人。昨年の春から自分たちで縫い上げて浴衣を完成させました。参加した大島櫻さんは、「細かい作業が多く時間がかかったけど、完成したときはとてもうれしかったです。ぜひお祭りのときに着ていきたい」と話しました。

十日町市ビジネスコンテスト本選会開催

2月26日(土)、ベルナティオで県内外の大学生が十日町市を舞台にビジネスプランを競い合う十日町市ビジネスコンテスト本選会が開催されました。本選会では予選会を勝ち抜いた6チームが参加。各賞は次のとおりです。○最優秀賞：チームNSU(新潟産業大学)「十日町を糖菓町へ～スイーツで町おこし～」○2位：松本ゼミナール2軍(長岡大学)○3位：チーム燦水会(新潟産業大学)○市長賞(東京・京都vs県内対抗戦)：新潟県内チーム



公営住宅入居者募集

●募集期間 3月11日(金)～25日(金)※申込み条件の詳細は問い合わせてください●申込み・問合せ 都市計画課 建築住宅係 (☎757-9935)

	物件	間取り	家賃(月)	戸数
十日町	谷内丑住宅(単身入居可)	平成11年度建築 鉄筋コンクリート3階建	6帖1室、 4.5帖1室、DK	1戸
松代	善宗塚住宅(世帯用)	昭和52年度建築 簡易耐火3階建	6帖1室、 4.5帖2室、DK	1戸
松之山	松之山第1住宅(世帯用)	昭和55年度建築 簡易耐火3階建	6帖3室、K	1戸
	湯山団地(世帯用)	平成10年度建築 木造高床3階建	8帖1室、 6帖2室、DK	2戸

第23回十日町市民音楽祭
出演団体募集！

市内の音楽団体が一堂に会して、日ごろの活動の成果を発表する音楽祭です。●開催日 6月26日(日)●会場 市民会館●申込み・問合せ 3月

31日(木)までに生涯学習課(☎757-8918)

十日町きものまつり協賛

「おうちの家宝展」
お宝募集

きものまつりに合わせて、商店街に飾るお宝を募集します。●展示期間 4月29日(昭和の日)～5月10日(火)●会場 本町通り・駅通り・昭和町通り・高田町通りの商店のショーウィンドー及び店内●申込み・問合せ 4月6日(水)までに十日町商工会議所(☎757-5111)

初心者からのwebクリエイター科受講生募集

厚生労働省の緊急人材育成支援事業基金訓練です。パソコンの基礎からウェブサイト作成の知識を習得します。●日時 4月13日(水)～10月13日(土・日曜日、祝日を除く)午前9時10分～午後3時50分●対象 ハローワークで求職申込みをし、受講を勧められた人●受講料 無料(テキスト代19,000円程度が別途必要)●定員 20人●申込

111)



一日金融公庫相談会

利率引下げなどの拡充措置が終了します。公庫の借入残高を一本化する「おまとめ融資」も併せてご相談ください。●日時 3月15日(火)午前10時30分～午後4時●持参するもの 過去2期分の決算書・申告書、直近の試算表、印鑑●会場・申込み・問合せ 3月14日(月)午後3時までに十日町商工会議所(☎757-5111)

寄付ありがとう

- 2月25日届出分まで(敬称略)
- とおかまち応援寄附金へ＝水野良昭(東京都武蔵野市) 高橋豊(新潟市) 高橋淳子(新潟市) 新井孝子(神奈川県横浜市) 前田礼(神奈川県川崎市)
 - 地域福祉基金寄付へ＝植木組豊親会ひろば(24,184円) 水沢雪まつり会(13,710円)
 - 情報館へ＝南雲敏美(本屋敷) 野沢正夫(野口) 池田力也(尾崎) 富井栄一(上野) 山下多恵子(新座3) 村山博(稲荷町3本通り) 粉山旭太(池谷) 早川定雄(北浦田) 生越誠一(上新田3) 関口忠邦(新潟市)

ニュージーランド地震への募金のお願い

市では、2月22日にニュージーランドで発生した大地震の被災者を支援するため、募金を行います。皆さんのご協力をお願いします。

◇期間：3月31日(木)まで

◇募金方法

募金箱：市役所本庁、分庁舎、各支所、各公民館、キナーレ、千手温泉千年の湯、ミオンなかさと、ゆくら妻有、松之山温泉センター鷹の湯

振込：第四銀行十日町支店

普通 1510473

ニュージーランド地震市民募金

十日町市会計管理者 佐藤 実

◇問合せ：防災安全課 ☎757-3197

十日町地域体育施設(10施設)が
指定管理制度に移行します

4月1日(金)から、下記の施設が指定管理制度へ移行します。体育施設の利用時間や休館日、施設予約窓口、電話番号、FAX番号などに変更はありません。なお、スポーツ振興課は市総合体育館内に事務室を置きますが、電話番号が新しくなりますのでご注意ください。

【対象施設】

市総合体育館、武道館、市民体育館、笹山野球場、城ヶ丘テニスコート、信濃川運動公園、青少年運動広場、水沢運動公園、陸上競技場、十日町総合公園(野球場・テニスコート)

【指定管理者】

特定非営利活動法人ネージュスポーツクラブ

(市総合体育館内 ☎752-4377、FAX752-4375)

■問合せ：スポーツ振興課 ☎756-5013(3月末までは☎752-4377)

み・問合せ 4月8日(金)(必着)までに〒950-0095 4新潟市中央区美咲町2-1 10アルビレックス新潟後援会「試合観戦ご招待」係(☎025-282-0011)

保育サポーター
ボランティア募集

子育て応援のため、一時的に小さいお子さんの保育をするボランティアを募集しています。詳しくは問い合わせください。●問合せ 保育サポーター「いちご」代表 酒井(☎757-4005)

食品表示ウオッチャー
になりませんか

県では、平成23年度の「食品表示ウォッチャー」を募集しています。日常の買い物機会などに食品表示の状況を確認し、県に情報提供をしてもらいます。応募方法など詳しくは問い合わせください。●対象 県内在住の満20歳以上で、定期的な報告や研修会への参加などが可能な人●募集人数 100人●申込み・問合せ 3月31日(木)まで

広告掲載

平成23年度

「交通事故(※)」によるケガ等に見舞金を支給

※自損事故・車の同乗者・自転車の転倒事故(道路を運転中)等も対象

年会費 500円

ひとり年額500円です

見舞金 3万円(実治療7日)～最高150万円(死亡)

平成23年4月1日の交通事故から見舞金が増額。等級は17段階。

お申込み方法など詳しくは、町内会経由で配布される赤い封筒の中身をご覧ください。

お問合せは／十日町市 市民生活課 交通生活係 ☎025(757)3740(もしくは各支所 地域振興課 行政防災係まで)

あすこたね

▼昨年に引き続き、今年も雪原カーニバルなかさとのことを書くかと思えます(すみません...)。今年は3月12日(土)開催で、2万本のろうそくを雪原に設置予定です。このろうそくを風や雪から守る紙コップの準備を2月28日～3月4日の間行いました。多くの皆さんに参加していただき、当日は幻想的な世界を演出できそうです。ありがとうございました。きつと今年は晴れて、次号で大成功とお知らせできるよう祈っています。2月には、市内でロケが行われた沖縄国際映画祭用の映画のシーンにスノーキャンドルが使用されることになり、設置作業のお手伝いをしました。暖かい沖縄でスノーキャンドルの風景が、どんな風に観客の目に映るのか気になります。▼今回の市報の表紙「雪上カーニバル」。子どものころから見て、参加してきたカーニバルですが、今年は新鮮な印象でした。例年より1時間早いオープニング、太陽がまぶしいほどステージを照らす光景は初めてです。毎日のようにテレビで見るタレントさんが、ぐいぐい会場を盛り上げます。お連れした外国からのお客様も総立ちで踊っています。私も小学生のときにステージで踊りましたが、客席でこんなに踊ったのは初めてでした。雪上カーニバルは、跳れば寒くないし、とても楽しかった！そしてこれは、最後の花火に毎年思うことです。

「来年もまた見たい！」



(ひ)



ふぶきのサッカー



相崎 康介さん（1年）
サッカーがうまくなるように、吹雪の中で特訓しているところです。吹雪の模様は、スポンジやペットボトルのふたなどを使って描きました。



ぼくがいつぱい



馬場 柊太朗さん（2年）
虫の顔がみんな自分の顔になっています。草むらなどでよく会えて身近なので虫にしようと思いました。一番うまく描けたのはちょうちょうの顔です。



ジュニア芸術祭

69

吉田小学校



エルマーと
楽しそうなりゅう



春日 渓介さん（3年）
「エルマーと16ぴきのりゅう」という物語の絵を描きました。エルマーとりゅうが空や海を冒険しているところで、一番好きな場面です。



外から見えた
きれいな雪景色



馬場 好香さん（4年）
絵の中の私は、学校で小さなまくらを作っています。木の枝にも雪を描いて、雪がたくさん積もっている感じを出しました。



大空へ飛びたて



中嶋 翔さん（5年）
大きな鳥に乗って空を飛ぶ夢を見ました。知らない大きな町の上を飛んでいる、気持ち良かったです。鳥に乗っている様子が上手にできました。



つれたぞ！ニジマス



酒井 大樹さん（6年）
学年行事で釣りに行ったとき、ニジマスが3匹釣れてうれしかったです。魚の周りの水しづきをうまく表現できました。今度は海で釣りをしてみたいです。